

台風23号の下で耐えて歌った10時間～トマトバスの屋上～

平成16年10月20日(水) ほんの一月前の出来事です。この日、台風23号が日本に上りくしました。山口県でも多くの小学校がお休みとなった日です。

これは、その日の夜の出来事です。

京都府舞鶴市。

台風にもなう大雨で、川がはんらんし、国道175号線を走っていた「かん光バス」(バス会社：トマトバス)が立ちおうじょうしてしまいました。

バスにのっていたのは、運転手さんと係の人合わせて全部で37人。ある市の元しょくいんさんの集まり22人と、ある病院の元しょくいんさんの集まり13人の二つのグループの人がのっていました。

年は、運転手さんと係の人をのぞくと、すべて61さいから87さい。おじいさんおばあさんばかりです。

その日の出来事を、時間を追って、くわしくお話ししましょう。

午後8時すぎ

「トマトバス」、道にあふれた水で動けなくなる。水がバスの中に入り始める。

午後9時ころ

「トマトバス」の中の水が、席の「ひじかけ」まできた。座っていたら「こし」まで水につかるふかさである。

「屋根の上になげよう！」

金子さん(男性：63さい)、西村さん(男性：62さい)がバスの屋根の上から乗客を引っ張り上げた。その二人が落ちないように、井じりさん(男性：63さい)が屋根の上で、腹ばいになって二人のベルトをつかんでいた。宮崎さん(男性：63さい)は、まどわくにこしかけ、じょうきやくを一人一人押し上げた。

おとしよりなので、なかなかかんたんには、屋上に上ることができない。みなひっしであった。

午後 9 時 3 0 分ころ

最後の一人が屋根の上に上がる。水は、窓枠がかくれるところまできていた。そのままバスの中にいたら、おぼれる深さである。

午後 9 時 3 0 分すぎ

屋根に上がるときに、バスのカーテンを取り外して持って上がっていた。

それをつないで長くし、かた方のはしをバスの前のアンテナに、もう一方のはしをバスの後ろのまどわくのあたりにくくりつけた。

バスの屋上をななめに横切るカーテンにつかまり、体が流されないようにしたのだ。



午後 1 0 時まえ

それでも、水かさが増え、バス全体が水にしずむ。屋上は水にかくれた。全員が立ち上がるようになった。

乗客は、バス屋上のまん中あたりにかたまり、おしくらまんじゅうのようにうでを組んだ。中には女の人、まわりを男の人がとりかこんだ。

「このまま水が増えれば、助からない」

だれかが、おきょうをとえはじめた。

午後10時すぎ

ほどなく、バスが流され始める。

「たいへんなことになった」

そんな中、いなばさん（男性：68歳）が後ろのトラックに向かって、だくりゅうの中をおよぎはじめた。流される車をつなぎとめるためのロープを取るためだ。もちろん、まわりは、まっくら、どしゃぶり、風も強くふいている。

しかし、早い流れにはばまれてトラックまで行くことができなかった。いなばさんは、近くの木に流されそれにしがみついた。

そのとき、長さ5、6メートルの竹のぼうがバスに流れついているのが目に入った。

「その竹をこっちにくれ！」

いなばさんがじょうきゃくにさけび、片方を木の上のいなばさんがもち、もう一方をバスの上の人が持ち、バスが流されないようにした。

「手をはなしたらどうなるかわからない」

一方を持っていた、西村さんがさむさの中で耐えた。

しばらくして、おばたさん（男性：67歳）が竹のぼうづたいに、いなばさんのいる木にわたり、靴ひも2本で、竹のぼうと木を結びつけた。

文字通りの「いのちづな」であった。

いなばさん、おばたさん二人は、このまま真夜中ずっと約8時間、木にしがみついていたのだった。



真夜中

みずかさは、屋根の上に立っていても、ひざより上になった。

中島さん（女性：64歳）がスカーフを取り出し、10人あまりがその下で雨、

風をしのいだ。

もとかんごふさんの小林さん（女性：70さい）が、不安のあまりいきがみだれたお年の男性の背中をたたき、しんこきゅうさせるなどお世話をした。

午前3時

中島さんが

「『上を向いて歩こう』を歌いましょう」

とよびかける。みんなの気持ちをふるいたたせるためである。

まだ、水は屋根を完全にかくしている。暗く、寒い。

午前6時

夜が明けるころから、水が引きはじめ、ようやくバスの屋根がかんぜんにすがたをあらわした。

夜10時すぎからずっとたったままだった乗客は、8時間近くたってやっと座ることができた。

しかし、まわりは、一面広く大きな川である。

しばらくして、明るくなった空の向こうからヘリコプターの音が聞こえた。

流された棒に白いタオルをつけて、さけぶ

「おーい、おーい」

ヘリコプターがそれに気づき、上空で止まった。救助員の姿が見えた。

「これで助かった」

参考資料：朝日新聞 平成16年11月11日（木）付
～ 検証 台風23号・観光バス水没事故～ による